

【令和4年度時点のグリーンボンド充当事業の環境改善効果】

対象事業		環境改善効果の指標
(1)緊急に実施することで被害を最小化するハード対策		
河川の緊急対応		
河川改修事業費	令和元年の台風第19号により、新たに土砂が堆積する等、氾濫の危険性が特に高い区間等について、堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施する。 (相模川、酒匂川、金目川など)	<p>【令和4年度】</p> <p>嵩上げコンクリート等の緊急対応工事や増水時の被災の未然防止対策工事を実施した箇所数。</p> <p>河床掘削・樹木伐採 43 河川 81 箇所</p> <p>緊急補修などの未然防止対策工事 18 河川 29 箇所</p>
河川維持改修事業費	令和元年の台風第19号で溢水した箇所や常時土のうが設置されている箇所などについて、嵩上げコンクリート等の緊急対応工事を実施する。 (山王川、目久尻川、境川など)	
河川修繕費	令和元年の台風第19号により、新たに土砂が堆積する等、氾濫の危険性が特に高い区間等について、堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施する。 (相模川、酒匂川、金目川など)	

対象事業		環境改善効果の指標
(2)中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策		
ア 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備		
河川改修事業費	遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等、事業着手中の全ての大規模事業について、重点的、集中的に実施し、計画を5年間前倒しして、概ね10年以内での効果の発現を目指す。 (引地川、境川、山王川、柏尾川など)	浸水面積、浸水区域内人口及び想定被害額の変化 約 75ha ⇒ 0ha 約 1,360 人 ⇒ 0 人 約 90 億円 ⇒ 0 円 注) 事業区間の完了後に、計画の対象規模の洪水が発生した場合の整備効果を示す。
イ 海岸保全施設等の整備		
海岸高潮対策事業費	堤防高や消波機能等が不足する海岸のうち、近年、高潮や高波で後背地の家屋などに被害が発生した海岸について、優先的に護岸等の海岸保全施設を整備する。 (小田原海岸、葉山海岸など)	県の海岸保全基本計画に基づく高潮や津波対策として護岸等の海岸保全施設を整備する海岸… 4 海岸
ウ 土砂災害防止施設の整備		
通常砂防事業費	地域防災計画に位置付けられた避難路の被害を受ける恐れのある箇所などについて、砂防堰堤等の整備を重点的に実施する。	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数 12 市町村
防災砂防事業費		台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数 15 市町村
砂防施設改良費		既設砂防施設の補強・改良工事を実施する地域数 12 市町
地すべり対策事業費		台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数 4 市町
急傾斜地崩壊対策事業費		急傾斜地の土砂災害警戒区域のうち、要配慮者利用施設のある箇所や過去にがけ崩れがあった箇所など、早期に対策を実施すべき箇所から重点的に整備する。 (大滝町地区(横須賀市)、牧野上ノ久保地区(相模原市)など)
急傾斜地施設改良費		既存急傾斜地崩壊防止施設等の補強・改良工事を実施する地域数 10 市町